



こんにちは♪

民主 苦小牧号外
2026年
3.15・22台併号
No.1133

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです!



米軍は日本から出ていくべき

2月28日に開始したアメリカとイスラエルによるイラン攻撃に、私は強く抗議をします。この攻撃では、真っ先にイランの最高指導者を殺害しました。そして、次々と罪のない民間人の命が奪われています。病院や学校、住宅などまで攻撃して破壊し、子ども達を含む多くの人々が瓦礫に埋もれてしまいました。アメリカとイスラエルの行為は、正気の沙汰ではありません。

イラン攻撃には、横須賀港に配備しているイージス艦が使われた可能性が高く、このイージス艦が発射した長距離巡航ミサイル・トマホークが衝撃を与えました。

政府はこれまで、在日米軍は「抑止力」だと正当化してきましたが、実際は先制攻撃に参加する部隊だということが、あらためて明らかになったのだと思います。2003年のイラク戦争でも、横須賀基地のイージス艦が第1撃としてトマホークを発射して攻撃を開始しました。

さらに、日本から出撃した戦闘機が、イラク全土で空爆を繰り返しました。在日米軍を容認する政府は、先制攻撃を肯定していることになるのではないでしょうか。

“世界一危険な基地”といわれる沖縄普天間基地は、事実上「無期限にお使いください」という状態に陥っています。沖縄では、1995年の米軍による少女暴行事件が起こり、日本中から怒りが湧き上がり、「基地を撤去すべき」という世論と運動が一気に高まりました。それを受け、「5年ないし7年以内に返還する」との日米合意に至りました。しかし、未だに居座っています。政府は、辺野古に新基地をつかって、そこを普天間の代替えにすると決めてしまいましたが、辺野古の基地建設予定地は軟弱地盤のため建設が全く進まないことが要因です。

沖縄県民も多くの国民も、辺野古を普天間の代替えにするのではなく、「米軍基地は沖縄からも、日本からも出て行ってほしい」というのが強い要望です。そうしなければ、米軍による事故や事件から解放されません。

世界のあちこちで戦争や戦闘が起り、どれもアメリカが中心だったり、強く関与しています。しかも国連憲章・国際法違反の行為でありながら、高市政権は抗議も批判もしていないことも問題です。それに加え、世界に向かって攻撃する部隊である米軍基地を日本に置くことは、もはや認められないのではないでしょうか。